

健康讃歌

by 岡山旭東病院



岡山旭東病院
マスコットキャラクター
「モモコ」

日常生活に視点を置いたりハビリテーション、「病棟リハビリ」を四月より開始。

「リハビリ」と聞けば、ほとんどの読者は、専用のリハビリテーション室へ患者が向き、そこで決められたメニューを実施する...といったイメージを抱くことだろう。今回、岡山旭東病院が導入した「病棟リハビリテーション」は、こうしたこれまでのリハビリのイメージを覆す画期的な取り組み。導入への経緯、そのメリットなどについてリハビリテーション課と看護部のスタッフに尋ねてみた。

チームの中心メンバー、理学療法士の新任副主任は言う。「これまでリハビリ課と看護部では、当然働く場所が違うためカンファレンスや情報交換に多くの時間を費やしていました。加えて課によって使う専門用語の違いもあります。そういった課題を克服して、なんとか患者さまにさらなる能力の向上、具体的にはADL(日常生活動作)の改善がもつと実践的にできないものかと考えた結果が「病棟リハビリテーション」です。」

続いて、高津看護師は実際のメリットをこう語る。「リハビリのスタッフと看護師が病棟という同じ空間で時間を共有することで患者さまを軸にしたチーム医療が可能になりました。たとえばトイレのリハビリもいつも使うトイレで行なうように。患者さまが日常生活どおりの行動パターンでリハビリできるのが一番のメリットです。」

作業療法士の山本スタッフ:「さらには、ひげ剃りもそのままりハビリになることもあります。これまでは、リハビリ室ではできても病棟に戻ると同じ動作ができない患者さまがいらしたのも事実。その点からも病棟リハビリはトイレ、洗面、入浴、食事など、いつも



(左より)
看護部
脳卒中リハビリテーション看護
認定看護師
高津真由美
看護部 主任
洲脇英見
診療技術部
リハビリテーション課
副主任 理学療法士
新谷修平
リハビリテーション課
作業療法士
山本昌和

の生活がベースですから患者さまも混乱なく、取り組むことができます。最後に看護師の洲脇主任:「家族の方にも相談しやすくなったと好評です。病棟リハビリは患者さま、ご家族、スタッフにとってもいい環境ですね。今後は個々のレベルを上げながら、チームの質をさらに上げていきたいとのこと。誰が担当しても満足がいくサポートができるようにしたい」。挑戦は始まったばかりだ。

◆お問合せ / 岡山旭東病院 ☎086-276-3333
http://www.kyokuto.or.jp



岡山旭東病院をぐるり気軽に見学!! 「病院見学ツアー」

毎月第4金曜(12月を除く) 13時~15時半
《参加無料》先着順(定員2~10人)
対象:小学生以上(小学生の場合は保護者同伴)

岡山旭東病院では、病院としての機能や設備、患者さまへの配慮やアメニティなどをご紹介します。当院への理解を深めていただくため、「病院見学ツアー」を開催しています。所要時間は約2時間半。現在は「癒しの環境コース」「診察コース」の2コースを隔月で交互に企画しています。患者さまやご家族、地域の方々はもちろん、日頃当院へ足を運ばれたことのない方など、気軽にご参加いただけたらと思います。みなさまのお越しをお待ちしております。

※お申込み・お問合せは 企画広報室 ☎086-276-3231



パッチ・アダムスホール (院内1階多目的ホール) イベント案内

- 7月
 - ◆生活習慣病予防健康教室「サルコペニアと肥満」 7/12(土) 13時半~15時
 - ◆第48回 転倒予防健康教室 7/15(火) 14時~15時
 - ◆キッズデイ (第67回 病院見学ツアー) 7/25(金) 13時~15時半 対象:小学生(保護者同伴)
- 8月
 - ◆第22回 地域ふれあいフェスティバル 8/9(土) 午後
 - ◆第49回 転倒予防健康教室 8/19(火) 14時~15時
 - ◆第68回 病院見学ツアー 8/22(金) 13時~15時半
 - ◆ピアノ・フルーツ演奏会 8/29(金) 13時半~14時

※どなたでもご参加いただけます。コンサート以外は事前にお申込みをお願いします。お申込みは 企画広報室 ☎086-276-3231